



南部町立南部中学校 学校だより 第16号

チーム南部中

令和2年11月17日(火)
校長 望月和彦

より良い授業づくり

本年度、本校は「気づき・考え・表現し合える生徒の育成 ～主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～」というテーマを設定し、全教職員でより良い授業づくりの校内研究に取り組んでいます。さらに今年度は「初任者研修授業研修会実習校」（新しく教員に採用された初任者がより良い授業について学ぶ実習校）に指定され、校内研究と併せて年間5回県内の初任者に本校の授業を見てもらう機会を設けています。

1学期の学活と理科の授業に続き、10月23日（金）には飯島健太教諭の1Bの英語の授業研究会を行いました。内容は「三単現のs」の使い方を学ぶ授業です。本校の教職員を紹介する文を各自が作り、グループに分かれてその先生をあてるクイズ形式の活動が仕組まれていました。生徒たちが友たちと協力し楽しみながら学習している様子が印象的でした。



11月13日（金）には深澤宏彰教諭が2Aの道徳の授業を行いました。「ジコチュウ」という読み物を題材に「相互理解・寛容」という価値項目について考えさせる授業でした。生徒たちが普段の生活の中で、友だちに本心を伝えられなかったり、相手の立場や状況を考えられなかったりした場面を考えさせ、これからの生活の中で「お互いの考えや立場の違いを理解し合うためにはどんなことが大切か」を個人で考え、グループや全体で意見交換する中で、個々が自分の考えをさらに深めさせていました。



授業後の研究会では、初任者から2つの授業に共通して「発表する・聞く・ノートをとるなどの学習規律がきちんとしていること」や「生徒たちが意欲的に楽しみながら授業に参加している」などの感想が聞かれました。また、指導主事の先生方からは今後の授業改善のポイントについても細かなアドバイスをいただくことができ、本校の教職員にとっても大切な研修の場になりました。

県新人体育大会 男子バレー部が県準優勝！

10月18日（日）、24日（土）、11月1日（日）、3日（火）、7日（土）に県の新人体育大会が県内各会場で実施され、野球部、男女バレーボール部、女子ソフトテニス部と季節部の空手部が出場しました。南部中学校の名を背負い、さらに峡南地区の代表として、他地区の代表チームと対戦しました。総体と同じように、感染症対策を施し保護者や一般の方々の応援や観戦がない大会でしたが、本校の選手たちは練習の成果を発揮しようと各会場で精一杯戦っていました。その中で男子バレーボール部は決勝まで駒を進め、準優勝という素晴らしい結



果を残すことができました。冬季に向けて、交流大会や1年生大会など小さな大会がある部もありますが、次の大きな公式戦は4月の選手権大会、そして夏の総体となります。この長い冬の期間にどのような活動をするかが選手権や総体の結果に表れてきます。個人やチームの課題を明確にし、それぞれの目標をつくって、課題を克服しながら、体力、技術力、戦術やチームワーク、そして精神力をレベルアップして行って欲しいです。以下に県大会の結果をまとめます。



部名	山梨県中学校新人体育大会の結果
男子バレーボール	1日目：予選リーグで湖南中、塩山中とともに2-0で勝利 2日目：準決勝で若草中に2-0で勝利、決勝で田富中に0-2で敗退 「準優勝」
女子バレーボール	予選リーグで猿橋中に0-2で敗退
野 球	東桂・道志・都留一合同チームに1-2で敗退
女子ソフトテニス	個人戦：遠藤・望月紗組が2-4で敗退 団体戦：山中湖中に0-3で敗退
空 手（季節部）	団体戦の形は東桂中、組手は下吉田中と対戦し、ともに敗退

思春期体験学習

10月30日（金）町の福祉保健課と峡南教育事務所の協力を得て、3年生の「思春期体験学習」を開催しました。元山梨県道徳教育推進協議会委員の新藤京子先生に「生命の授業 ～あなたが生まれ育ってきた道…そしてこれから～」というテーマで講演をしていただきました。人はどのようにして生まれてくるのか。命がどれほど尊いものなのか。親の子に対する気持ちと子の親に対する気持ち。これからどのような大人になってほしいのか…などを自分の経験や様々な「もの」を使って熱く語ってくれました。予定していた2時間をはるかに超えていたのにもかかわらず先生の言葉のパワーは強烈に響いて、新藤ワールドに生徒も教職員も、参観していた保護者や福祉保健課の方々も話に引き込まれていました。講演が終わると3年生からお礼の言葉と合唱を新藤先生にプレゼントすることができました。これから大人になり、親になっていく3年生にとってとても大切な記憶として残ってくれることと思います。



美術文芸部の活動紹介

美術文芸部は、輝城祭の中で大型切り絵をライブパフォーマンスで完成させました。作品は身延高校で開催された中高連携事業の「ライフミュージアム2020」（10/8～14）にも展示され、身延高校生や身延中の生徒からも好評でした。また、部活動で制作した作品は本校生徒玄関前にも展示しています。



学校生活を豊かに

校舎の玄関には季節に応じて、様々な飾り付けがなされます。用務員の高山朱美さんが植物や紙やビニールなどで様々な飾り物をつくって生徒や教職員、来校者の目を楽しませてくれます。10月にはハロウィーンにあわせて素敵な飾り物を展示してくれました。教室棟の1階廊下にはALTのパトリックがハロウィーンの飾り付けを行ってくれました。ありがたいことです。

